

報道関係機関 各位

北海道漁業協同組合連合会
代表理事会長 櫻庭 武弘
< 公 印 省 略 >

**「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」及び
「我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会」の開催について**

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、現在、我が国の漁業は、原発事故の風評被害等による水産物消費の減少と価格下落による大幅な収入減少が深刻化する一方で、円安を主な要因とした燃油価格の高騰により経営の危機に直面しております。

こうした状況を受けて、特に、燃油高騰対策の要望実現に向けて各地域の運動展開を結集するかたちで全国統一行動を展開することとなり、本道においても漁業の窮状を広く国民に訴え、緊急対策の実現を国に対して強く求めるために、「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」を開催することといたしましたのでご案内申し上げます。

また、上記集会の翌日、東京日比谷野外音楽堂にて全漁連の主催により「我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会」が開催されますので、併せてご連絡いたします。

記

1. 「漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会」(全道集会)
 - (1) 開催日時 平成25年5月28日(火) 13:30~15:00
 - (2) 開催場所 札幌市第2水産ビル8階大会議室
(札幌市中央区北3条西7丁目)
 - (3) 開催要領 **別添①**

2. 「我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会」(全国集会)
 - (1) 開催日時 平成25年5月29日(水) 13:00~15:30
 - (2) 開催場所 東京・日比谷野外音楽堂
(東京都千代田区日比谷公園 1-5)
 - (3) 開催要領 **別添②**
 - (4) 要請活動 29日の午前中、全漁連と連携し、系統団体長、組合長会議正副議長が本道選出国會議員への要請を行います。

3. 燃油高騰対策 関連日程 **別添③**

<p>【お問い合わせ先】 漁連 漁政部 TEL : 011-241-1051 FAX : 011-271-0843</p>

以上

漁業経営危機突破 北海道漁業代表者集会 開催要領**1. 趣 旨**

我が国漁業は、魚価低迷に加えて燃油高騰が継続するなか、東日本大震災、原発事故による風評被害で漁業経営はより深刻な環境にある。

さらに、政府の景気対策による円安の進行は燃油価格の急激な上昇をもたらしたこのままでは漁業経営の存続はもとより、漁協経営や地域経済への甚大な影響は計り知れない重大な危機にある。

よって、我々は、この窮状を広く道民に訴え、水産物の安定供給の担い手としてその責務を果たしていくため北海道漁業の存続を可能とする緊急対策の実現を強く求めていくため、北海道漁業代表者集会を開催する。

2. 主 催

北海道漁業協同組合連合会

北海道信用漁業協同組合連合会

北海道漁業共済組合

北海道漁業信用基金協会

共水連北海道事務所

地区漁協組合長会会長会議

北海道水産会

3. 日 時

平成25年5月28日(火) 午後1時30分～3時

4. 場 所

札幌市 第2水産ビル 8階大会議室 (札幌市中央区北3条西7丁目)

5. 日 程

①開 会

②主催者挨拶 (北海道漁連会長)

③漁業代表者意見表明 (漁業者代表)

④来賓挨拶 (北海道知事、北海道議会議長)

⑤政党所信表明 (自民党、公明党、民主党、共産党、維新、新党大地)

⑥決議採択

⑦シュプレヒコール

⑧閉 会

6. 集会規模

漁協組合長、理事、常勤理事、参事、在札系統団体役職員、道水産会及び会員団体、道漁青連、道女性連、道内選出国會議員、道議會議員、北海道水産林務部、関係機関・団体等

200名

7. 要請行動

集会翌日（29日）、全漁連と連携し、系統団体長、組合長会議正副議長が本道選出国會議員への要請をおこなう。

8. 動員目標 180名

(1) 道内各漁協 74漁協 74名 （※1漁協1名以上 組合長、役員等）

(2) 水産団体 110名

※内訳 漁協系統団体 70名

（漁連30、信漁連20、共済5、基金協会5、共水連10）

水産会40名（会員団体含む）

9. 報道対応

水産記者クラブ、道政記者クラブへプレスリリースをおこなう。

集会終了後、主催者団体長による記者会見を開催する。

10. 街宣活動

集会終了後、札幌市内にて道民理解を求めるための街宣活動を行う。

11. その他

集会当日は、集会しおり、チラシ、鉢巻、ゼッケンを配布予定。

我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会 開催要領

1. 開催主旨

東日本大震災と沿岸域を襲った大津波は、我が国漁業に壊滅的な被害を与え、その復興に全国の漁業者は一丸となって取り組んでいるところである。

しかしながら、原発事故の風評被害等によってさらに深刻さを増している水産物消費の減少と価格下落による大幅な収入減少の一方で、コストの多くを占める燃油や餌飼料価格の高騰により、漁業経営は未曾有の危機に直面している。

さらに、政権交代後に強力に推進されている景気浮揚政策による円安の進行は、燃油価格等の急激な上昇をもたらし、出漁の断念のみならず、廃業に追い込まれる経営体も出現している状況にある。

この状況を放置すれば、水産食料の安定供給という基本機能のみならず、我が国漁業が存続し、操業が行われることによって果たされている国境域の監視や情報提供をはじめとする国民にとって重要な多面的機能発揮の責務も果たせなくなる。

景気浮揚政策を否定するものではないが、政策実施により漁業経営が大きな被害を受け、廃業にまで追い込まれることは許されるものではなく、漁業経営の存続を可能とするためには、急激な円安による燃油価格高騰分の緊急対策をはじめとして、異常高騰時にも国が責任をもって対策を行うことが不可欠である。

ついでには、我が国漁業・養殖業の存続を可能とする緊急対策の実現を求める標記集会を開催する。

2. 開催日時 2013年5月29日(水) 13時より
3. 開催場所 東京・日比谷野外音楽堂
4. 主催 全国漁業協同組合連合会、(社)大日本水産会・業種別団体(予定)
5. 参集者 全国の漁業代表者2,500名
6. 次第
 - (1) 開 会
 - (2) 主催者挨拶
 - (3) 意見表明
 - (4) 決 議
 - (5) 与党所信表明
 - (6) 出席議員紹介
 - (7) シュプレヒコール
7. デモ行進 日比谷公園→国会周辺：所要時間50分
8. 要請活動 デモ行進終了後、代表及び各県による要請行動

以 上

燃油高騰対策 関連日程

	時間	項目	場所	参集範囲	備考 動員目標(人数)
5月28日	13:30 ～ 15:00	漁業経営危機突破北海道漁業代表者集会 180人規模	札幌市第2水産ビル8F	団体長、地区組合長会会長、全道各漁協1名以上、水産会会員(道いか、道さんま、道鮭連、小型鮭鱒)、在札系統役職員	180人規模 各漁協74 水産会40 漁連30 信連20 共済5 基金5 共水連10
	15:00 ～ 15:30	記者会見	漁連第1会議室	団体長、地区組合長会正副議長	
5月29日	9:00 ～ 12:00	中央要請	衆参議員会館	団体長、地区組合長会正副議長 (2班に分かれて要請)	団体長、 地区組合長会正副議長
	13:00 ～ 15:30	我が国漁業の存続を求める全国漁業代表者集会 2500人規模(北海道142以上)	東京都日比谷野外楽堂	団体長、地区組合長会会長、全道各漁協1名以上、水産会会員(道いか、道さんま、道鮭連、小型鮭鱒)、在京系統役職員	各自・現地集合 ・現地解散 北海道141 漁協74 水産会30 漁連東京支店15 北光5 在札10 (団体長4、正副議長2、漁連4)